

急性胃腸炎

○どんな病気？

急性胃腸炎とは、ウイルス（ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなど）がおなかの中に入って胃や腸で炎症を起こす「おなかのかぜ」です。

- ・嘔吐、吐き気
- ・下痢
- ・腹痛
- ・ときに発熱、頭痛、関節痛などのかぜ症状も伴います。

突然の嘔吐で始まり、半日から 1 日は吐き気が続きますが、次の日からは徐々に下痢症状が始まり、それと入れ替わるように吐き気はおさまってきます。

○潜伏期間：1～3 日

○感染経路：吐物や便を介して感染します。

そのため、手洗いがとても大切になります。また、吐物の処理も大切です。

○治療方法：ウイルス感染が主なので、特効薬はありません。

嘔吐、下痢に対して自宅でのケアが大切です。別紙参照

- ・症状に応じて吐き気止めや整腸剤を処方します。
- ・クリニックで吐き気止めの座薬をいれた後は（ ）時間後から水分摂取を開始してください。

○登園、登校はいつから？

嘔吐、吐き気、下痢がおさまって、いつも通りの食事がとれるようになってからがよいでしょう。登園の場合は、登園許可書が必要です。



さくらキッズクリニック
sakura kids clinic

ご家族が胃腸炎に感染したら

1. 手洗いが大切です！

手洗いに使用するタオルは共用せず、個人ごとに専用とするか、ペーパータオルを使用してください。

2. 汚物が衣類についてしまったら

- ①衣類をビニール袋に入れ、周囲に汚染しないようにします。
- ②消毒：**85度で1分以上熱湯消毒するか、
0.02%次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白)で消毒します。**
注意！次亜塩素酸ナトリウムは漂白作用があります。
- ③消毒後、他のものと分けて最後に洗濯してください。

3. トイレのドアノブ、便座の消毒はまめに。

4. おむつを捨てるときはビニール袋にいれて封をして捨ててください。

5. 下痢をしている人の入浴はいちばん最後にし、風呂の湯につかる前には、まずおしりをよく洗います。

6. 調理器具で気を付けること。

○調理器具、シンク、ふきん、スポンジなどは、熱湯消毒(**85度で1分以上**)または、**0.02%次亜塩素酸ナトリウム**で消毒

処理セット

- ・バケツ ・キッチンペーパー、ペットシート等
- ・キッチン泡ハイター、プーキープロケア、
- ・ビニール袋 ・マスク ・手袋

①まず、吐物をキッチンペーパー・ペットシートなどで覆います



②マスク、手袋をし、換気のため窓を開けます。

③吐物は、キッチンペーパーなどで、外側から内側に向けて静かにぬぐいます。
この時、吐物が接触する範囲を広げないようにしてください。

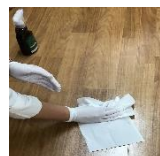


④使用したキッチンペーパーなどはすぐビニール袋にいれて封をして処分します。



⑤吐物が付着していた部分にキッチン泡ハイターやプーキープロケアなどの次亜塩素酸ナトリウムで拭きます。

⑥使用した紙類は全てビニール袋にいれ、封をして捨てます。



⑦しっかり手を洗い、うがいます。